

KANDAI

STYLE

特集

高槻・高槻ミュージズ・堺キャンパスの祭特集

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】
関大生の“防災意識”を問う!

【VIVA!学び場】外国語学部
「Academic Writing b」
サイモン・ハンフリーズ 准教授

【働く関大人】マスコミ業界/DJ
FM802「LNEM」木曜日担当DJ 樋口大喜さん

【なるほど・ザ・関大!】
関西大学 梅田サテライト・オフィスを
知っていますか?

【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】
商学部3年次生
高井 かなたさん

今年の
テーマ

「紫陽花祭(あじさい)」

2015年5月31日(日)開催

前 実行委員長 矢野 鷹也さん(総合情報学部4年次生)
現 実行委員長 安田 和生さん(総合情報学部3年次生)



安田さん

安田さん:今年のテーマは「紫陽花祭(あじさい)」。たくさんのお花が集まってできている植物なので、皆で力を合わせて人々を楽しませる学祭にしよう、また、紫陽花は“七変化”と呼ばれ、さまざまな色に変化する。来場者の人生を色付ける1つの転機になってほしい、という願いを込めました。昨年は約4000人も来場してもらって盛況だったので、今年もそれに負けないよう頑張ります。

矢野さん:今年の企画はどんなものを考えているの？

安田さん:模擬店のグランプリを獲ろうと思っています。他にスタンプラリーや、昨年に続き高槻市のマスコットキャラクター「はにたん」にステージ上で参加してもらってのジェスチャーゲームなど、いろいろと考えています。

矢野さん:「はにたん」は子どもに大人気で、楽しそうにしている姿を見てうれしかったな。ステージ企画では「胸きゅんセリフ」の発表や、高槻名物の「うどんギョーザ」を出店してもらったり。安田くんが局員だった教室企画もとても盛り上がったよね。

安田さん:ミニゲームと迷路を組み合わせた企画で、途中にアハ体験を入れるなど、親子で楽しんでもらえました。



矢野さん



「来年も絶対来たい!」と言ってくれる方もいて、うれしかったです。

インタビュー:祭典実行委員長になって、自分自身で何か変化したことはありますか？

矢野さん:人前に立ったり、話をまとめたりすることが苦手だったのですが、実行委員長として活動する中で、何事にも積極的になれたと思います。最初は無理してでも積極的に振る舞っていたのですが、だんだんそれが自然にできるようになりました。

安田さん:私もあまり人前に出ることが得意ではなく、自分が実行委員長でいいのかと、ずっと不安でした。ですが昨年11月の統一学園祭を実行委員長として無事終わることができたので、少し自信がつき、これでいいのかな、と思えるようになりました。

矢野さん:11月の統一学園祭が終わった2日後から、高槻キャンパス祭の会議が始まるので、実行委員皆の気持ちを切り替えて、同じ方向に向いてもらうことが大変なんだよね。

安田さん:そうですね。キャンパス祭が終わったあと、私も胸上げてもらえるかな。

矢野さん:私のときは安田くんが胸上げを皆に根回してくれただよね。皆に支えられて、頑張ってきて良かったと感動したよ。最後に、今年の意気込みで締めてください。

安田さん:普段あまり披露する機会のない、総情のサークルの活動もステージで見られるし、総情の雰囲気を知らない千里山をはじめ他キャンパスの学生にも、ぜひ高槻キャンパス祭に来てもらいたいです。絶対に損はありません。矢野さんにもぜひ、私たちの成長を見てほしいです。

矢野さん:絶対に行きます! (笑)

※企画内容等の詳細は、高槻キャンパス祭公式Webサイトをご覧ください。

「紫陽花祭 高槻キャンパス祭」

<http://ku-tcfes.com/>



昨年度の様子



昨年度のミニゲームの様子



今年の会議風景

今年の
テーマ

「楽しく防災を学んで伝えよう」

コンセプト:「若い力で安全の輪を広げる」

2015年6月21日(日)開催

前 実行委員長 渡邊 翔太さん(社会安全学部3年次生)
現 実行委員長 祐本 莉菜さん(社会安全学部2年次生)



今年の会議風景



今年の
テーマ

「堺キャンパスやさかい!!」

2015年6月7日(日)開催

前 実行委員長 中藤 征士さん(人間健康学部3年次生)
現 実行委員長 畠中 春佳さん(人間健康学部2年次生)



畠中さん



中藤さん



今年の実行委員会風景

畠中さん:今年の堺キャンパス祭は、「堺キャンパスやさかい!!」をテーマに、盛り上げていきたいと思っています。昨年、私は入学してすぐのキャンパス祭だったので大変でした。中藤さんは、昨年委員長をされてどうでしたか？

中藤さん:まずは企画を皆で挙げていくんだけど、実際はできなかった企画でも、どんどん面白いアイデアが皆から挙がって、すごく楽しかったな。外部の参加団体とのやりとりや、当日の運営もバタバタして大変だったけど、学生や地域の方々と一緒にやっつけたという達成感を得られたよ。畠中さん、今年のキャンパス祭のイチオシはどんな企画なの？

畠中さん:そうですね、やっぱり昨年も大成功したNPO法人主催の「みんなで遊ぼう」企画です。小さな子どもたちが保護者と一緒に、竹とんぼやブンブンごまなどを工作して遊ぶ企画で、子どもたちも大喜びして楽しんでくれましたよ。

中藤さん:そうそう、大反響でイベントスペースも超満員だったよね。これは今年もリピーターが期待できるかも! 僕らの代のキャンパス祭は、先輩方のおかげでだんだん形もはっきりしてきたから、新しい企画を増やして、広報する地域も広げたい。すると前回より来場者数も多くなって、やりがいも十分感じられたな。畠中さんは、今年はどうなキャンパス祭にしたい？

畠中さん:ステージ企画や模擬店はもちろん、学部らしさを出した祭りにしていきたいと思っています。堺キャンパスにある体験学習エリアを子どもたちに体験してもらったり、スポーツやヨガなど、楽しく体を動かしてもらったりする企画をどんどん盛り込みたいですね。堺に住む人々を巻き込んで、人間健康学部のことをもっと知ってもらえるように頑張りたいです。



昨年度の様子

中藤さん:学部内だけでなく、外部団体や学校・幼稚園、地域の人たちとつながりが広がる、地域密着型のキャンパス祭というのは、僕らの学部の良いところだよ。

畠中さん:そうですね! でもそれだけたくさんの人たちをまとめるのは大変。私に務まるか少し心配です。

中藤さん:確かに僕の時もそうだったよ。アドバイスできるとすれば、人をうまく動かすことかな。これをやる、と決めたら早いうちに人に任せる。メリハリをつけると任された人も自覚が芽生えるし、力も発揮してくれると思うよ。相手に「自分はやらされている」と感じられてしまうと、相手は頑張ってくれない。畠中さんの上手な采配で、他の人たちもモチベーションを高く保てたら一番いいね。あとは気張り過ぎないこと。

畠中さん:ありがとうございます。皆で楽しくキャンパス祭をつくり上げたいです。それじゃあ今年は昨年の来場者数を超えて、2500人を目指していきます!

中藤さん:おお、すごいな。ではそれを目標に頑張らなう。僕もサポートしていきますね。

※企画内容等の詳細は、堺キャンパス事務局(072-229-5022)までお問い合わせください。

高槻キャンパス祭

みんなで盛り上げよう!

高槻・高槻ミュージズ・堺キャンパスの

祭 特集

高槻ミュージズキャンパス祭

祐本さん:今年は、「楽しく防災を学んで伝えよう」をテーマに、「若い力で安全の輪を広げる」をコンセプトにしています。祭典実行委員会では、女性委員長は初めてなので緊張します。渡邊さんは委員長をされて、どんなところにやりがいを感じましたか？

渡邊さん:委員長として、いろいろな学生たちと議論を重ねて、祭をつくり上げられたことや、祭典実行委員会だけでなく、学生全体を引っ張っていったことかな。

祐本さん:私は入学してすぐの安全フェスティバル(昨年度までのキャンパス祭の名称)でした。お客さんも楽しんでくれていたね。渡邊さんのイチオシ企画って何でしたか？

渡邊さん:前は、地域の防災団体による震災時に必要な「技」や「知識」をゲーム感覚で楽しみながら身に付けてもらう防災訓練システム「カエルキャラバン」や、防災脱出ゲームが好評だったな。地域の子も子どもたちも参加してくれて、盛り上がっていたね。祐本さんたちは、どんな企画を考えてるの？

祐本さん:今年も昨年に引き続き、カエルキャラバンや模擬店を行います。学部らしさを生かして、自衛隊招致も企画中です。今年は、キャンパス開放デー(昨年は11月開催)イベントと併せて開催することになったので、昨年より大きい規模で、企画を提案していきたいです。それに伴い、名前も「高槻ミュージズキャンパス祭」に変更しています。

渡邊さん:面白そうだね。今回は、僕のと以上に広報活動に力を入れてるね。

祐本さん:SNSをはじめ、高槻市の集いにも顔を出して、地域の方々に宣伝をしたり、ラジオ局の方とも仲良きさせていただいています。まずは高槻ミュージズキャンパス祭を知ってもらうことが大切ですね。前回の安全フェスティバル、キャンパス開放デーとも大成功だったので、私たちが前回の良いところを取り入れて、もっと良いものにしていきたいです。目指すは、前回の来場者を超える、3000人の来場です。

渡邊さん:大きく出たな。でも委員長として仕事をやる中で、一人で抱え込んだり、なぜかだけこんな大変なかと悩んでしまうかもしれないけど、私が高槻ミュージズキャンパス祭を大成功させるぞ、くらいの勢いで仕事を楽しくしてほしいな。普通の学生では味わえない、貴重な経験になると思うよ。

祐本さん:私も委員長になって初めて前委員長渡邊さんの偉大さが分かりました。もしも困った時とか、迷った時はどうすればいいですか？

渡邊さん:とにかく、仲間と相談。周りにはいっぱい仲間がいるから、もちろん僕も相談に乗るし。

祐本さん:前回の安全フェスティバル、キャンパス開放デーを超える高槻ミュージズキャンパス祭を目指して頑張りますので、これからも見守っててください!

渡邊さん:楽しみにしてるよ。

※企画内容等の詳細は、関西大学社会安全学部祭典実行委員会までお問い合わせください。

Mail : ansai15share@gmail.com Twitter : @musai2015



昨年度の防災脱出ゲーム



昨年度のカエルキャラバン



みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

関大生の“防災意識”を問う!

2015年1月17日、阪神・淡路大震災の発生から20年の節目を迎え、3月には約10年に1度の「国連防災世界会議」が仙台で開催されました。今年にはメディアでも「災害」「防災」などについて取り上げられる機会が多いようです。社会安全学部を持つ大学として優れた防災設備を擁する関西大学。その学生の皆さんの「防災意識」はどのようなものなのか、調査してみました。

【アンケート期間：3月12日～3月31日 対象：関大生 回答者：274人（男子126人 女子148人）】

第3回国連防災世界会議

2030年までに国際社会が取り組むべき目標が決定

3月14日～18日の5日間にわたり、仙台市において開催された国連防災世界会議には、世界186カ国から代表者が集まり、議論が行われました。そして、今後、国際社会が取り組むべき防災・減災の指針である「防災のための仙台行動枠組」が採択されました。仙台行動枠組には、2030年までにその実現が期待される具体的な成果として「生命、生活、健康ならびに人々、企業、コミュニティそして国家の経済的、物理的、文化的、環境的資産に対する災害リスクと損失を大幅に削減する」が掲げられました。また、この成果を実現するための目標として、「様々な分野の総合的かつ包摂的な取り組みによる防災・減災の取り組み」が掲げられています。さらに、2020年あるいは2030年までに国際社会が達成すべき、人的被害軽減や経済的被害軽減をはじめとする7つの具体的な目標も記載されています。

関西大学の防災への取り組み

「関大防災Day」を実施しています。

関西大学が行っている「関大防災Day」は、2010年から実施している関大独自の防災啓発行事です。千里山、高槻、高槻ミュージス、堺の4キャンパス同時に、学生・教職員と近隣住民の方々、約1万人が参加する大規模な地震避難訓練を実施します。他にも防災講演会や各種訓練などさまざまなイベントや、地域住民の方と一緒に炊き出し訓練をするなど、地域ぐるみで訓練を行っています。また、災害時は緊急連絡メールシステムにより情報提供や安否確認などを行いますので、最新のメールアドレスを登録してください。皆さんも積極的に参加して、今後起こり得る災害に備えるため、「防災」や「災害時の安全・安心づくり」への意識を高めましょう。



昨年度の防災Dayの写真
安否確認シートを記入

「社会安全学部」がある「高槻ミュージスキャンパス」の設備がすごい!

高槻ミュージスキャンパスには、「安全・安心のまちづくり」に貢献するため、地域の防災拠点として、災害時における非常用の食料や生活用品だけでなく、発電機や非常用ライトなど災害時に必要となる物資を保管しています。また人命の安全確保や被害の軽減のための救助避難用品も整えています。各トイレには、専用の配管によりプールと接続された水栓を設けており、災害時に最も困るトイレ洗浄水の利用を想定しています。下水道みどりの対策としては、トイレその他の排水用に、約400人7日分の貯留スペースを確保している他、災害用マンホールトイレ8台を備蓄しています。火災対策としては、初期消火に最も有効なスプリンクラー設備を全館に設置しています。スプリンクラーヘッドは全て耐衝撃型とし、誤作動防止にも配慮しています。以上に加えて、太陽光発電設備や風力発電設備、雨水利用設備等を備え、「大阪府建築物環境配慮評価システム」で最高のSランクを達成しています。これらの取り組みが評価され、大阪府第4回大阪サステナブル建築賞優秀賞を受賞しました。



太陽光発電 風力発電 災害用備蓄倉庫

あなたは現在、何か災害への備えをしていますか?



男女で比較してみても、全体の比率とそれほど変わらず。

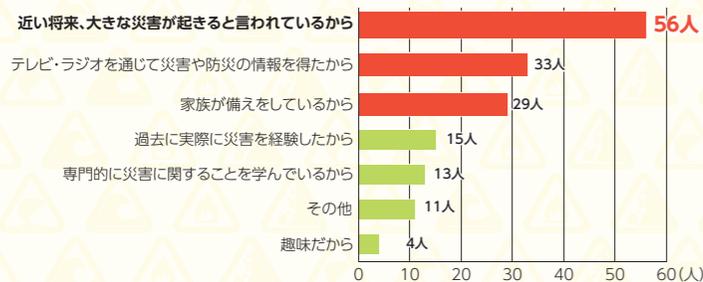
具体的にどのような備えをしていますか? (複数回答可)

- 1 防災グッズや食料などの備蓄の準備
- 2 家具の転倒防止や家具の配置に工夫など
- 3 連絡方法や避難場所の確認
- 4 災害に対する心構えをしている
- 4 防災に関する知識の習得
- 6 防災サービスを使えるようにしておく

その他

「慢性的に起こる小さい揺れの際でも、なるべく身を低くする、避難経路を確認するなど、大災害を意識した行動を取っている(文2女子)」や「キャンプ道具を購入する際は、災害時の道具としても使えるようなものを積極的に選択するようにしている(文3女子)」などなど、日常生活に上手に防災意識を取り入れている達人も!

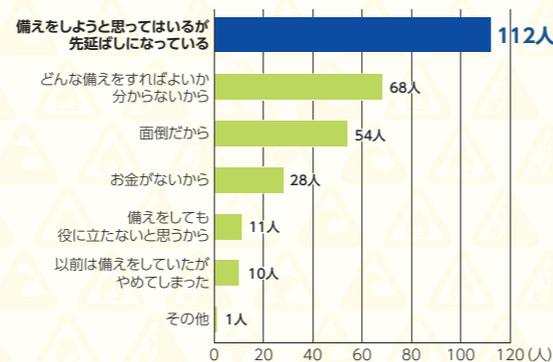
災害に対する備えをするようになったきっかけは何ですか? (複数回答可)



その他にはこんな意見が...

「ボランティア活動をしたことで、防災の必要性を感じたから(政策3女子)」や「社会安全学部生として災害対策型のキャンパスに日頃からいるので自然に意識がいくから(安全3男子)」「関大の避難訓練に参加したり、神戸の防災センターに行く機会があったので、なんとなくしたほうが良いかなと思ったため(社3女子)」「自分の命は自分で守るべきだから(安全2男子)」

備えをしない理由を教えてください (複数回答可)



「備えをしようと思っはいるが、先延ばしになっている」がダントツの結果に。しないといけないことは分かっているが、なかなかできない状況が浮き彫りに。

城下先生からアドバイス

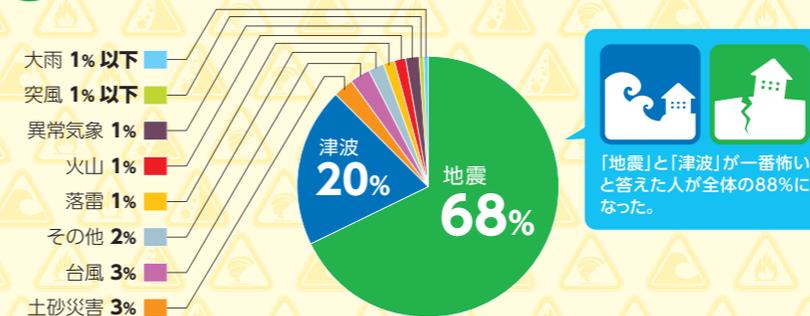


「The防災」だけが防災対策ではありません

アンケートによれば、回答者の約7割が、災害への備えをしていないという結果になりました。防災グッズの準備や家具の転倒防止などは、先延ばしにしている人や面倒だと感じている人にとっては、なかなかのハードルかもしれません。しかし、災害時にも使えるようなキャンプ道具を選択、購入することも防災対策の1つといえます。日常生活と防災対策をうまくつなぐことで、防災を手軽に始めることができるのではないのでしょうか。

人以上の参加がありました。そこで取り上げられたテーマはとでも幅広く、キーワードの一部を列挙すると、メディア、外国人、ロボット、ボランティア、メンタルヘルス、起業家、保険、都市ガス、人権、難民、がん医療、女性、廃棄物、水循環、落語、動物、マンション、道の駅、スポーツなどがありました。これらから分かることは、防災はあらゆる分野と関係する問題であるということです。防災は、自分自身の専門領域と関係がないと考えるのではなく、それぞれの領域から防災とのつながりを考えてもらえればと思います。

災害の中で何が一番怖いですか?



「地震」と「津波」が一番怖いと答えた人が全体の88%になった。

あなたは災害時に大切な人を守れると思いますか?



男女別で見ると、男子では、「はい」と回答した人が21%で、女子の11%を上回る結果に。

◎「はい」と回答した方理由を教えてください。

学部・学年	性別	理由
文3	男子	日常的に非常時に備え、またそのための体づくりなどを行っているため。
文3	女子	自分の身を犠牲にしても守りたいと思う。
社2	男子	冷静な情報判断と強い気持ちを持って守ることができると思うから。
安全2	男子	防災とは人の命を守ることです。人の命を守りたければ、防災を学ばなくてはなりません。現在、大切な人の命を守るために災害について学んでいます。その学習が無駄にならないように、いざという災害時には人の命を守れるようになりたいと思っています。
化生3	男子	直接的な教護はできなくても、例えば津波が来ているときなどに逃げるよう声を出すなど、間接的に人を助けることはその人の心の準備次第では十分可能だと思います。

◎「いいえ」と回答した方理由を教えてください。

学部・学年	性別	理由
文2	男子	いつ何が起きるか分からないため絶対に守れるなどと軽々しく口にすることはできない。
商3	男子	どんな災害かによりますが、いざ何が起こったら状況を飲み込むのに精一杯でパニックになると思う。だから守れるとは言えないけど、蘇生法やAEDの使い方などは勉強しようと思う。
社4	女子	災害は不測の出来事なので、どれだけ守りたくてもその時に同じ場所に居なければ守ることはできないと思う。だからこそ、普段からの災害に対する備えは必要だと考えさせられた。
情4	女子	東日本大震災や阪神・淡路大震災などの映像を見ると、人の手には負えない状況だと感じたから。
化生2	女子	自分のことで精一杯で、今どんなに守りたいと思っても、結局自分を最優先に考えてしまうと思う。

次号のテーマは…「ライバル校について考えよう」

6月11日(木)～13日(土)に、いよいよ伝統の「総合関関戦」が行われます。関関戦の他にも、早慶戦(早稲田大学と慶応義塾大学)や同立戦(同志社大学と立命館大学)など、日本ではお互いにライバルと認めながら切磋琢磨する大学があります。そこで、次号(6月号)では関大生にとってのライバル校を調査します。

5月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「関大生の「防災意識」を問う」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(5月1日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



マスコミ業界 / DJ

FM802「LNEM～エルネム～」
木曜日担当DJ

樋口大喜さん

関西大学第一高等学校出身
2014年法学部卒業



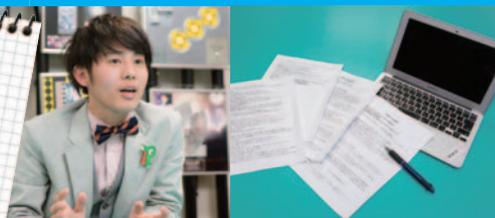
名前の通り「大きな喜び」をリスナーと。
一方通行じゃない双方向がラジオの醍醐味です。

毎週木曜深夜27時、ラジオを周波数80.2MHzに合わせると聴こえてくる元気な声。関西圏で圧倒的な人気を誇るラジオ局FM802が樋口大喜さんの職場です。内定していた企業に進まず、2度目のチャレンジで念願のDJオーディションに合格した樋口さんが実力主義の厳しい道を選んだのは、この仕事に対する強い憧れがあったため。中学3年生の頃、DJ中島ヒロトさんのラジオで悩みの相談をした時にかけられた励ましの言葉に強く心を動かされたのがDJを志望した大きなきっかけだと言います。当時、夢中になって聴いたラジオのようにリスナーの心に届く放送を目指し、日々、番組内で紹介すべく、映画館や音楽ライブに足を運んでいるそうです。好みにこだわらず、さまざまな分野を鑑賞、身近な疑問も調査情報を収集します。そうして自らが地道に集めた話題を投げかけることで返ってくるリスナーの反応に、今とてもやりがいを感じているとか。もともとみんなで何かを作り出すのが好きだと言う樋口さんの将来の目標は「憧れの先輩DJ方のように“ラジオの良さ”や“明日への糧になる番組”を発信、共有できる存在になる」ことです。

困難や挫折を乗り越えて夢をつかんだ樋口さんは「はっきりとした目標があるなら絶対にぶれない。常に挑戦し、闘い、決して諦めないことが大切」だと語ります。そしてもし将来を悩んだり、力が欲しい時、それにリラックスしたい時には、不屈のDJ樋口大喜さんの「LNEM」(毎週木曜日 27:00～29:00)を聴き、心の栄養補給を試みてはいかがでしょうか。

ある1日の
スケジュール

13:00	映画鑑賞 (1本目)
15:30	映画鑑賞 (2本目)
18:00	音楽ライブ
	ライブ後、夕食
21:00	番組準備・原稿作成など
23:00	局入り
	メールチェック、スタッフと 打ち合わせ
27:00 (生)	オンエア (西時間)
6:30	反省会
8:00	帰宅



原稿作成やリスナーからのライブの反応を知るためのPCと、番組で使用する自作の原稿

Disc jockey

VIVA!!

学び易



外国語学部

「Academic Writing b」

サイモン・ハンフリーズ 准教授

留学に必要なアカデミック・ライティングを身に付ける。

2年次のスタディ・アブロード・プログラムを、より有意義なものにするため
日本語の作文とは異なる、英語の文章作法を理解・習得します。

サイモン・ハンフリーズ准教授が担当する「Academic Writing b」は、外国語学部の1年次生を対象にした必須科目です。外国語学部は全員が2年次のスタディ・アブロード・プログラムで海外留学をするため、この授業により、現地で必要となるアカデミック・ライティングを学び、その書式、文章作法を身に付けます。授業では、段落のあり方について重点的に学習。習得したスキルを使用して、学生が、自由なテーマで英語のエッセイを完成させるまでを目標としています。

英語の文章作成では、書こうとする主題・題材をあらかじめ明確に紹介し、そこから逸脱することなく、テーマに沿って文章を続けていきます。これは「起承転結」を重視する日本語の文章作法とは全く異なり、日本人の学生にはなじみが薄いものです。しかし、このアカデミック・ライティングを身に付けることにより、読み手を「楽しませる」「説得する」「情報提供をする」といった目的に見合った分かりやすい文章を書けるようになるのだとか。ここで学んだエッセイを書くためのスキルを、留学先での授業や、そこで出会う友人たちとのメール交換などに活用し、さまざまな人と交流を深めながら視野を広げてほしいと、ハンフリーズ准教授は考えています。「もちろん語学力のアップが留学の主目的ですが、日々の生活で経験する多くの出来事や友人づくりを通して、人生最高の1年間を過ごしてほしい」。その経験が将来、英語教育や研究、国際ビジネスなどの英語に関わる仕事に就いたときに生かせるかと期待しているそうです。

ハンフリーズ准教授が、楽しく和やかな講義で話しやすい雰囲気づくりを心掛けている教室では、先生の意図した通り、質疑応答にも臆することなく明るく答える学生の姿がありました。



影山皓大さん(2年次生 取材時は1年次生)

英語での文章の書き方を実践的に学べるこの授業は、大変ですが、留学に際しきつと役に立つと思うので、授業外でも勉強を頑張っています。留学先では語学力アップだけでなく、「外国人から見た日本」についても知りたいですね。



浅野夏帆さん(2年次生 取材時は1年次生)

高校までは英語で長文を書く機会があまりなかったけれど、この授業で自分の伝えたいことがスムーズに出てくるようになりました。留学で、さらなる語学力アップを目指し将来は、通訳か翻訳の仕事に就きたいと思います。



外国語学部

サイモン・ハンフリーズ 准教授

受講生は、英語でのコミュニケーション時や英語のエッセイを書くときに、細かい文法や発音などの間違いをあまり気にせず、まず自分が何を伝えたいかをはっきりさせてほしい。この授業では気後れや恐れは払拭して、積極的にアプローチすることが大切だし、その努力が必要なのです。



※取材は2015年1月に行いました。

なるほど・ザ・関大!

関西大学 梅田サテライト・オフィスを知っていますか?

昨年11月、大阪梅田に関西大学の新たなサテライトキャンパス「関西大学 梅田サテライト・オフィス」が開設されたことをご存知ですか?
今号では、関西ビジネスの中心地における大学の新たな活動拠点を紹介します。

○ 梅田サテライト・オフィスってどんなところなの?



2014年11月、大阪市内における教育・研究活動およびキャリア支援に関わる拠点として、梅田スクエアビルディングの13・14階に「梅田サテライト・オフィス」を開設しました。

このオフィスには、広く一般の方を対象に総合的な心理臨床サービスを提供するカウンセリングルームと、就職活動を支援する「キャリアセンター梅田オフィス」を設置しています。

「心理臨床センター梅田カウンセリングルーム」(14階)は、従来の来談型サービスに

加え、企業などへの産業メンタルヘルスやストレス・マネジメント、市民への啓発などの総合的な心理臨床サービスを展開しています。

また、本学が開設に取り組み、支援した「弁護士法人あしのは法律事務所」(14階)も同時に開設されました。この法律事務所は、代表弁護士が本学法科大学院の実務家教員で、法科大学院との密接な連携のもと、同大学院の正課教育実施に対する助言などの支援や修了生の就職支援など、さまざまな連携事業を行っています。

○ キャリアセンター梅田オフィスを活用しよう!

梅田サテライト・オフィスの「キャリアセンター梅田オフィス」(13階)は、平成28年3月卒業・修了予定者からの採用選考のスケジュール変更を踏まえ、関西大学の全てのキャンパスで学ぶ学生らが、効率的に就職活動を行える環境を整備することを目的に開設しました。



■ キャリアセンター梅田オフィスで利用できる主な内容

- キャリア・就職相談窓口の利用
- 就職関連資料、新聞、書籍、求人票等の閲覧
- 就職活動学生の情報交換や一時休憩(飲食も可)
- 各種証明書の発行
- パソコンの貸与、無線LAN・Wi-Fiの利用、コピーサービス等の提供

■ 開室時間:月曜日～土曜日 10時～18時



○ 関西大学梅田キャンパスを開設予定!

2016年9月(予定)には、阪急梅田駅から徒歩約4分、JR大阪駅から徒歩約8分と、梅田サテライト・オフィスと同様、交通至便な立地(北区鶴野町)に「関西大学梅田キャンパス」を開設します。「西日本の中心的な都市空間である梅田において、学びの高度化・多様化を追求し、地域・社会人・大学がともに発展できる新たなハブ機能」をテーマに、①社会人対象の学習機能 ②教育研究機能の一部移転 ③「心理臨床センター梅田カウンセリングルーム」「キャリアセンター梅田オフィス」の移転 ④在学学生、教職員、校友、企業や地域社会との交流・情報発信など、関西大学が有する知的資源の社会還元を一層推進する拠点を目指します。



関西大学梅田キャンパスの完成イメージ図



商学部3年次生（取材時は2年次生）

高井 かなたさん

地域活性化の活動は、社会との初めての関わりになりました。



Team Aosen Revival

好評を博したクリスマス列車イベント時の、TARメンバー。粟生線活性化キャラクターのしんちゃんたちと一緒に記念撮影。

次回は、高井さんからのご紹介で経済学部3年次生さかいたいきの左海太暉さんが登場。お楽しみに！

慢性的な赤字で廃線の危機にある神戸電鉄粟生線あおを盛り上げようと活動している「Team Aosen Revival」(=TAR)。2014年度、商学部の高井かなたさんは、今年退職された三谷真准教授のプレゼミに所属し、地域活性化の活動に取り組んできました。その活動の一つがTARです。実は、高井さんの地元が神戸電鉄の沿線であったために、親近感が強く、より熱が入ったと言います。

神戸電鉄粟生線は近年、バスの利用者の増加とともにその乗客数を一層減らし、存続が危ぶまれているそうです。交通の手段としてバスはあるものの、粟生線の廃線で困る人も確実に生まれ、地元では切実な問題になっています。高井さんらTARのメンバーは減少した乗客を取り戻そうと、さまざまな企画や、イベントを実施。例えば、「トレインフェスティバル」は車庫を利用した企画で、電車マニアから子ども連れの家族までが楽しめるイベントとなり、地元以外からも多数の参加があったそうです。駅に設置した“粟生線マップ”はフィールドワークみんで作成し沿線の魅力を発信したものだ。他にはサンタクロースに扮した学生が同乗する、ケーキやプレゼントの付いた“クリスマス列車”や“七夕列車”などなど。その活動はたびたびメディアに取り上げられましたが、地道な活動でより広く深く周知徹底を図りたいと考えています。

イベントでは自分たちの企画案と実際にできることのギャップに戸惑ったり、活動の運営や電鉄会社、地元の方々との連携の難しさを実感しましたが、お年寄りや子どもたちから感謝されることが大きな喜びになったそうです。

TARの活動を通じて、高井さんは個人として初めて社会との関わりを持つことになりました。「関係者とのやりとりで、電話のかけ方やメール文の作法をはじめとした社会人のマナーを、就職活動以前に実践的に学べたことは今後に生かせるプラス材料になりました」と言います。ゼミが忙しくなっても無理にならない範囲でTARは続けたいと語る高井さんは、この活動で改めて「人とのコミュニケーションが好きなので、将来はデスクワークより外に出る営業職に就きたい」と思ったそうです。TARの活動で年代を超えた交流を図ってきた、その手応えがそう言わせるのかもしれませんが。



Kanata Takai

平成27年度予算編成の概要

— グローバル人材育成の推進 —

この伝統を、超える未来を。



学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 予算編成の概要

平成27年度予算は、平成27年3月26日開催の理事会において承認されました。平成27年度から学校法人会計基準が改正されたため、この予算は新たな様式で表示しています。(詳細は11頁をご覧ください。)

関西大学は、指導理念である「学の実化」を学是とし、この理念を具現化するため、長い歴史と伝統のなかで、時代の変遷に応じた独自の教育目標を掲げ、国際社会にも広く貢献する人材の輩出に努めてきました。

平成28年11月に創立130周年を迎える本学は、これまでの伝統を継承しつつ、「21世紀型「学の実化」を志向するインターカルチュラル・イマージョン・キャンパス」を企図した国際化戦略構想を策定しました。

平成27年度は、「国際化戦略2014-2023 TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」を進めていくための、基幹的な教学組織の設置準備と推進体制の整備を行い、言語教育カリキュラム、入試改革、ガバナンス改革及び海外サテライトの設置など、今後10年間の長期的な構想を実現するための基盤づくりを進めます。また、本学の新たな拠点となる梅田キャンパス(大阪市北区鶴野町)は、平成28年度の開設を目指して、事業構想の具体化を検討するとともに、土地・建物の整備に着手します。創立130周年記念事業では、梅田キャンパス開設事業を加えた6つの事業を推進するとともに、記念事業募金活動についても積極的に展開してまいります。

平成27年度の事業計画は、「2 事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

平成27年度における教育研究活動に関する事業計画のうち、主なものは次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア ガバナンス研究科博士課程後期課程の開設

平成27年4月にガバナンス研究科博士課程後期課程を開設し、より高度な専門性を身につけた高度公共人材の養成を目指します。

イ 「国際化戦略2014-2023 TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」の推進

英語教育体制の大幅な改革を断行し、本学学生が国際的なコミュニケーション力、共感性、創造性、積極性、そして、異文化適応能力を養う異文化イマージョン教育(Intercultural Immersion Initiatives:トリプル・アイ構想)を展開します。

この構想を実現するため、大学全体をグローバルな環境に再生して、日本の学生と海外からの留学生がともに学ぶことのできる、「21世紀型

『学の実化』を志向するイマージョンキャンパス」の構築を推進し、わが国の高等教育レベルの国際化を牽引できる、真のグローバル大学となることを目指します。

平成27年度は、構想に沿った具体的実行案の検討を進めます。

【トリプル・アイ構想における国際化】



21世紀型「学の実化」志向イマージョンキャンパス

- イマージョン環境のもとで、多様で独創的な教育を展開する大学
- 国際人基礎力をもった次世代グローバルジェネラリストを育成する大学
- 総合大学として広範な学際性と高度な専門性を活かし、大胆かつ柔軟に未来を切り拓く大学
- 日本語・日本文化教育のグローバル拠点となる大学
- 活発なモビリティに支えられ、地域や世代を越えて愛され、信頼され、学びたいと切望される大学

ウ 関西大学「学縁」給付奨学金制度の構築及び奨学生会「葦の葉倶楽部」の設立

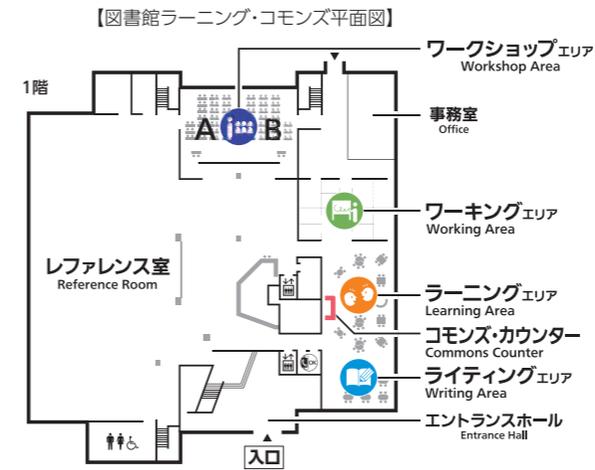
創立130周年記念事業の一環として、「伝統への自信 未来への考動～「学縁」を世界に広げよう」をコンセプトに、「学縁」給付奨学金制度を構築し、奨学生会「葦の葉倶楽部」を設立します。

新たな奨学金は、学ぶ意欲はあるが経済的理由により修学が困難な学生を支援することに重点を置き、「学業奨励型」から「経済支援型」にシフトします。また、関西大学との連帯感・一体感を深め、「学縁」を築くことを目的に、奨学金の給付を

受けた在学学生及び卒業生を中心とした会員組織「葦の葉倶楽部」を設立します。

エ 総合図書館ラーニング・コモンズの開設

総合図書館1階に新たな学びの拠点となるラーニング・コモンズを開設します。これまでの静かな個別学習空間を維持しつつ、新たに4つのエリアを配置し、学生の主体的な学修を支援します。



オ キャリア形成及び就職支援の充実

複数キャンパス化及び各学部・研究科の特性に対応したキャリア形成・就職活動支援プログラムを推進します。学生一人ひとりの勤労観・職業観を涵養し、自らのキャリアを導き出す力を育成するため、多様な就職支援行事を全学的に展開します。

また、下位年次対象の海外ビジネス体感プログラムをはじめ、国際インターンシッププログラムなど、より一層の充実を図り、グローバル社会で活躍できる人材を養成します。

カ 梅田サテライト・オフィスの活用

平成26年11月に梅田スクエアビルディングに開設した梅田サテライト・オフィスを、大阪市内における本学の教育研究活動及びキャリア支援に関わる拠点として展開していきます。

【梅田サテライト・オフィス(大阪市北区)】



同オフィスの13階に設置した「キャリアセンター梅田オフィス」では、就職活動に関する相談はもちろん、企業説明会や選考の合間に休憩スペースとして活用するなど、学生が効率的に安心して就職活動ができるよう支援します。また、14階の「心理臨床センター梅田カウンセリングルーム」では、来談型のカウンセリングサービスに加え、市民や企業等への総合的なサービスを実施します。このほか、本学が設立を支援した法律事務所が同フロアに開所し、法科大学院から委託を受けた正課科目の運営や修了生への就職支援も行います。

この他にも、教育研究の質の向上のための様々な施策を推進いたします。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 梅田キャンパス土地購入(大阪市北区鶴野町)

天六キャンパスの土地を売却し、梅田に新拠点を開設するため、大阪市北区鶴野町の土地806.57㎡を購入します。阪急梅田駅及びJR大阪駅近くの交通至便な土地に、地上8階建て、延床面積約5,000㎡となる建物の取得及び整備を進め、平成28年9月に、梅田キャンパスを開設する予定です。梅田キャンパスでは、社会人対象の学習機能など都市部での展開に教育的効果が期待できる事業を検討しているほか、梅田サテライト・オフィスにおける機能も集約する予定です。

【梅田キャンパス位置図】



【梅田キャンパスイメージパース】



イ 第4学舎(中庭教室棟)(仮称)建設工事

老朽化した第4学舎2号館(実験棟)を撤去した跡地に、中庭教室棟(仮称)を建設し、教室スペースを確保します。

新たな教室棟は、延床面積約3,500㎡、鉄骨造地上4階建て、計13室の教室とエレベータ2基を有し、同2号館の本館棟と研究棟に接続する予定です。

【第4学舎(中庭教室棟)(仮称)イメージパース】



3 収支予算書

学校法人会計基準の一部改正に伴う計算書類の変更

学校法人会計基準の改正に伴い、平成27会計年度から新たな計算書類を作成することになりました。このたびの改正は、学校法人会計基準の制定から40年が経過し、社会・経済状況の大きな変化、会計のグローバル化など学校法人を取り巻く環境の変化等を受けて、学校法人の経営状態を社会にわかりやすく説明できる仕組みとするものです。主な改正点は、①従来の「消費収支計算書」が「事業活動収支計算書」になり、様式及び名称を変更すること、②「事業活動収支計算書」に「基本金組入前当年度収支差額」を記載すること、③区分経理が用いられること、などです。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『事業活動収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、純資産(従来の「基本金」及び「消費収支差額」)をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために『予想貸借対照表』を作成しています。具体的には、平成25年度決算の『貸借対照表』に平成26年度補正後予算を加味して平成26年度末とし、さらに平成27年度予算を加味して平成27年度末の財政状態を予想したものです。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

平成27年度資金収支予算は、12頁に掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、603億4,600万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、621億2,800万円となりました。この結果、差し引き17億8,100万円を前年度繰越支払資金から充当し、翌年度繰越支払資金は134億7,100万円となりました。

(2) 事業活動収支予算について

平成27年度事業活動収支予算は、12頁に掲載の『事業活動収支予算書(総括)』のとおりです。

経常的な収支のうち、教育及び研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、教職員の人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は20億6,500万円の収入超過となり、対前年度比較で7億6,200万円の増となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は1億8,000万円の収入超過となり、この結果、経常収支差額は22億4,500万円の収入超過、対前年度比較で4億9,400万円の増となりました。これに資産の売却や処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額45億5,600万円を加え、予備費を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は63億100万円の収入超過となり、対前年度比較で43億4,300万円の増となりました。一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、32億2,900万円となりました。

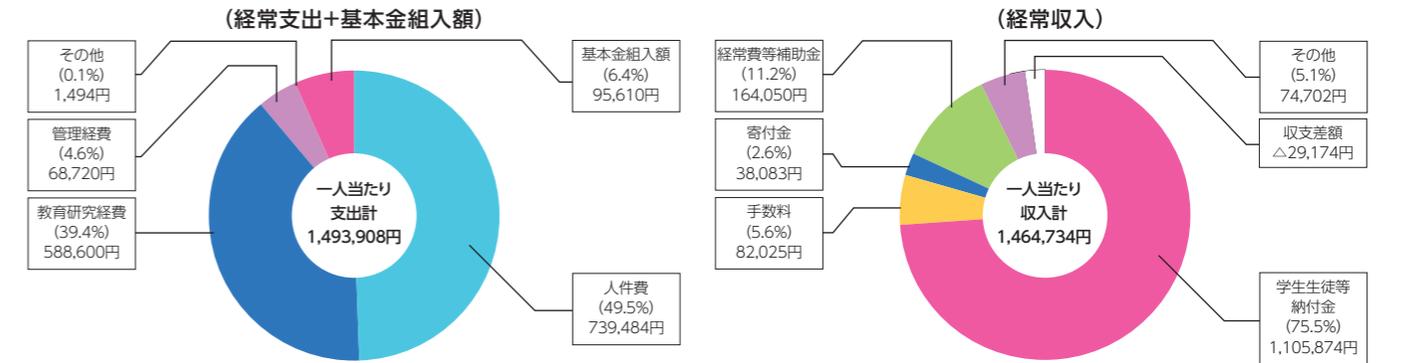
平成27年度予算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた30億7,200万円の収入超過となり、対前年度比較で43億4,400万円の増となりました。この結果、当年度収支差額と前年度繰越収支差額の合計から、基本金取崩額を差し引いた翌年度繰越収支差額は217億6,800万円の支出超過となりました。

また、この累積収支差額の外に、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が83億1,500万円ありますので、実質上の繰越収支差額はこれをあわせた300億8,300万円の支出超過となります。

なお、平成27年度の予算書や学校法人会計基準の一部改正の詳細など、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

平成27年度 事業活動収支予算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支予算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)及び収入(教育活動収入、教育活動外収入)の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,751人(大学院・学部・留學生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括) 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	27年度予算	26年度予算	増減	科目	27年度予算	26年度予算	増減
1 人件費支出	25,077,156	25,186,005	△ 108,849	1 学生生徒等納付金収入	37,337,591	37,406,487	△ 68,896
2 教育研究経費支出	14,041,354	14,056,051	△ 14,697	2 手数料収入	2,751,140	2,697,660	53,480
3 管理経費支出	2,124,877	1,723,611	401,266	3 寄付金収入	1,344,000	600,000	744,000
4 借入金等利息支出	65,441	80,218	△ 14,777	4 補助金収入	5,586,973	5,978,085	△ 391,112
5 借入金等返済支出	1,230,620	1,037,090	193,530	5 資産売却収入	4,700,000	649,550	4,050,450
6 施設関係支出	5,128,771	5,490,266	△ 361,495	6 付随事業・収益事業収入	1,085,654	1,001,792	83,862
7 設備関係支出	1,175,622	1,088,511	87,111	7 受取利息・配当金収入	244,833	527,428	△ 282,595
8 資産運用支出	11,370,022	3,445,809	7,924,213	8 雑収入	1,158,407	1,410,555	△ 252,148
9 その他の支出	3,164,714	3,092,942	71,772	9 借入金等収入	1,500,000	2,000,000	△ 500,000
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受金収入	6,264,731	6,703,873	△ 439,142
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 1,751,056	△ 1,867,585	116,529	11 その他の収入	5,991,164	4,936,383	1,054,781
12 翌年度繰越支払資金	13,471,181	15,252,289	△ 1,781,108	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 7,618,080	△ 8,096,175	478,095
支出の部 合計	75,598,702	69,085,207	6,513,495	13 前年度繰越支払資金	(60,346,413)	55,815,638	4,530,775
				収入の部 合計	75,598,702	69,085,207	6,513,495

(注) 「26年度予算」は第2次補正後予算を示す。

事業活動収支予算書(総括) 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

事業活動収支(収入の部)				事業活動収支(支出の部)			
科目	27年度予算	26年度予算	増減	科目	27年度予算	26年度予算	増減
1 学生生徒等納付金	37,337,591	37,406,487	△ 68,896	1 人件費	24,950,495	25,190,861	△ 240,366
2 手数料	2,751,140	2,697,660	53,480	2 教育研究経費	19,880,958	20,045,161	△ 164,203
3 寄付金	1,300,000	505,900	794,100	3 管理経費	2,294,818	1,905,373	389,445
4 経常費等補助金	5,586,627	5,421,947	136,680	4 徴収不能額等	0	0	0
5 付随事業収入	1,085,654	1,001,792	83,862	教育活動支出計	47,126,271	47,141,395	△ 15,124
6 雑収入	1,158,407	1,410,555	△ 252,148	教育活動収支差額	2,065,148	1,302,946	762,202
教育活動収入計	49,191,419	48,444,341	747,078				
				科目	27年度予算	26年度予算	増減
				1 受取利息・配当金	244,833	527,428	△ 282,595
				2 その他の教育活動外収入	0	0	0
				教育活動外収入計	244,833	527,428	△ 282,595
				科目	27年度予算	26年度予算	増減
				1 借入金等利息	65,441	80,218	△ 14,777
				2 その他の教育活動外支出	0	0	0
				教育活動外支出計	65,441	80,218	△ 14,777
				教育活動外収支差額	179,392	447,210	△ 267,818
				経常収支差額	2,244,540	1,750,156	494,384

(注) 「26年度予算」は第2次補正後予算を示す。

予想貸借対照表 平成28年3月31日

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	27年度末	26年度末	増減	科目	27年度末	26年度末	増減
資産の部 合計	218,370,172	212,296,525	6,073,647	純資産の部			
固定資産	203,661,706	195,122,568	8,539,138	基本金	210,157,409	224,600,686	△ 14,443,277
有形固定資産	115,258,814	114,975,234	283,580	第1号基本金	186,809,693	201,300,918	△ 14,491,225
特定資産	83,828,343	75,488,217	8,340,126	第2号基本金	100,000	100,000	0
その他の固定資産	4,574,549	4,659,117	△ 84,568	第3号基本金	19,943,716	19,915,768	27,948
流動資産	14,708,466	17,173,957	△ 2,465,491	第4号基本金	3,304,000	3,284,000	20,000
負債の部				繰越収支差額	△ 21,767,522	△ 42,511,509	20,743,987
固定負債	19,833,272	19,838,553	△ 5,281	翌年度繰越収支差額	△ 21,767,522	△ 42,511,509	20,743,987
流動負債	10,147,013	10,368,795	△ 221,782	純資産の部 合計	188,389,887	182,089,177	6,300,710
負債の部 合計	29,980,285	30,207,348	△ 227,063	負債及び純資産の部 合計	218,370,172	212,296,525	6,073,647

*平成26年度予算については、改正後の会計基準に基づき、組み替えて表示している。

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

ガイダンスが開催されます

6月に、1年次生を対象とした基礎演習と特修プログラムのガイダンスを開催します。基礎演習は、基幹科目の次のステップを少人数クラスで学ぶことができるように設けられています。特修プログラムは、今年度から新たにカリキュラムに組み込まれることになったもので、演習科目と講義科目を一体的に履修することが可能です。これらの演習・プログラムを履修することによって、皆さんの学生生活はますます豊かなものになります。募集方法や科目内容などを説明しますので、ぜひ参加してください。

(入試主任 中野徹也教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

EU-日本学特別講演会を開催

2月24日、デュッセルドルフ大学現代日本研究科の島田信吾教授をお招きして特別講演会を開きました。内容は、「尊厳」という言葉が持つ歴史的な背景を、ドイツと日本とで比較するものでした。ヨーロッパ社会から見た日本など、興味ある議論が交わされました。デュッセルドルフ大学現代日本研究科と本学文学研究科は、双方の大学院生が共通する課題について研究発表するワークショップなどを通じて交流を重ねています。こうした講演会は各種開かれますので、学部生も奮ってご参加ください。

(副学部長 原田正俊教授)

経済学部 / 経済学研究科

経済学会学生懸賞論文表彰式を開催

経済学会では、2014年度の学生懸賞論文の表彰式を3月11日に開催しました。総数14編の応募の中から11組が入賞、最優秀賞に「地域活性化を目的とした球団のフランチャイズ移転の効果」(代表:日野慶彦)が選ばれ、良永経済学部長より表彰状と副賞が授与されました。



(竹下公視教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

BestA(ベスタ)の参加者を募集しています

商学部では、海外ビジネス英語プログラムBestA(Business English Study Abroad)の参加者を募集しています。このプログラムは、現地イギリスでのインタビュー調査やビジネスプランのプレゼンテーションなど、ビジネス英語の習得に特化している点に特徴があります。



詳細は、パンフレット等を参照してください。(小井川広志教授)

社会学部 / 社会学研究科

うまれかわる社会学部

昨春から第3学舎にて行われている耐震改修工事および学舎のリノベーションが進んでまいりました。昨年度で1号館の工事はほぼ完了し、1号館のエレベーターが2基に増設されるなど、老朽化した設備が最新のものに替わりました。今後約2年間にわたって第3学舎各所の工事は継続し、ご利用の皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、社会学部設立50周年を2017年に迎えるにあたり、新しく生まれかわる第3学舎にご期待くださいますようお願いいたします。

(第3学舎オフィス)

専門職大学院トピックス

法科大学院

入学前指導行事

「大阪地方裁判所見学」を行いました。



3月26日、大阪大学法科大学院と合同で、入学予定者を対象に裁判所見学を行いました。法科大学院へ入学する前に生の裁判を体感してもらい、法律家の仕事や法律家に求められる能力を理解してもらうことを目的としています。裁判を見学した後、裁判官を交えた質疑応答を行うことにより、入学予定者は司法試験合格に向け勉学に励む決意を新たにしています。法科大学院では、大阪大学法科大学院と密接に連携し、司法試験合格を勝ち取る教育体制の充実を図っていきます。詳細については、法科大学院ウェブサイト(<http://www.kansai-u.ac.jp/law/index.html>)にてご確認ください。

(法務研究科 三浦潤教授)

併設校トピックス

関西大学第一中学校・第一高等学校

英語グリー・コンサート

3月16日、吹田市文化会館メシアター小ホールで、高校生と中学生の共演によるglee concertを行いました。2年間の課外ワークショップ「英語表現活動講座」において、英語の歌を歌い踊るshow choir活動を用いた協同学習を続けてきた高2受講生たちが、修了記念として行った発表会です。同じく、英語の歌の活動を行う中学ESSも加わり、熱気あふれる渾身のパフォーマンスを披露しました。



多くのお客さまからの温かい喝采に包まれ、生徒たちが輝く舞台となりました。(英語科教諭 萩原ゆか)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

きっかけとしての海外語学研修

国際化に積極的な政策創造学部では、学部開設以来独自の短期留学プログラムを展開しています。今年も春休みには21人の学生がニュージーランド国立ワイカト大学で充実した研修を受けて、ひとまわり成長して帰国してきました。現在は、夏休みにオーストラリアアデレード大学で行う研修の参加者を募集しています。特にこの春入学した皆さん、ぜひ参加を検討してみてください。学部としては、この研修をバネにして、さらに長期の留学を志してくれることを強く期待しています。

(三枝憲太郎准教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

英語絵本読み聞かせの経験から

幼稚園児に向けての英語絵本の読み聞かせを終えた学生たちが、「今までで最高の出来だった」と報告にきました。いつもは、英語の文章を読んだすぐ後に日本語で意味をつけるという方法を取っていますが、今回英語のみで進めたところ、子どもたちはいつもより喜んでくれたとのこと。聞き慣れない言語の音を媒体に、自分なりの意味を感じ取り、お兄さんやお姉さんとともに新しい世界に出会えたことがうれしかったのでしょう。これが外国語教育のスタートのあるべき姿と考えます。

(石原敏子教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

社会福祉士国家試験壮行会

人間健康学部福祉と健康コースでは、3月16日に平成26年度の社会福祉士国家試験に合格した学生の壮行会を開催しました。26年度の本学現役生の合格率は、39.3%と全国平均の27.0%を大きく上回るものでした。壮行会では、合格に至る道のりの苦労話や教員から激励の言葉が送られました。合格者の多くは、社会福祉協議会や病院などで、ソーシャルワーカーとして福祉専門職としての歩みを始めています。堺キャンパスで学んだ専門的な価値・知識・技術を存分に発揮してくれるものと思っています。

(福田公教准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

新入生を迎えた理工系3学部

4月1日に入学式が挙行され、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部は、それぞれ531人、364人、372人の新入生を迎えました。入学式や新入生歓迎特別行事では、楠見学長や各学部の学部長より力強いエールが送られ、新入生の皆さんにとって身の引き締まる一日となったことでしょう。この新しい学習環境で知識を深く吸収し、物事をじっくりと考えることで、実りある学生生活を送られることを心から期待します。また、理工系学部では、システム理工学部

に4人、環境都市工学部に4人、化学生命工学部に3人の新任の先生方をお迎えして新年度のスタートを切りました。新入生の皆さんと同じく、新任の先生方も新しい気持ちで関西大学での教育・研究活動を開始されたことと思います。現在、理工系3学部の活動拠点の第4学舎は耐震工事が教室棟に引き続き研究棟で進められています。さらに、第4学舎中庭に新しい学舎を建築中です。新入生の皆さんには工事中ご不便をお掛け致しますがよろしくお願ひいたします。

5月17日(日)には教育後援会総会・学部別懇談会が予定されています。多くのご父母が参加され、学生の皆さんの生活の様子を知ってもらい、就職や大学院進学についての情報に耳を傾けていただけることを期待します。

(環境都市工学部副学部長 山本秀樹教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2015年度 春季人権啓発行事

下記の要領で、人権問題に関する講演会を開催します。多くの学生・教職員のご参加をお待ちしております。なお、詳細については案内パンフレット「人権を考える」を参照してください。手話通訳、パソコン文字通訳を準備いたしますので、必要な場合は、開催日の1週間前をめぐりに学長課[TEL:06-6368-1121(大代表)]へご連絡ください。

【千里山キャンパス】

5月11日(月) 第2時限	テーマ:「子どもの貧困」って何だろう 講師:徳丸ゆき子氏 (大阪子どもの貧困アクショングループ(CPAO)代表)	5月13日(水) 第3時限	テーマ:日本の住宅政策の変遷と部落問題の現状について 講師:美濃由美氏(居住と「非差別」を守る会 事務局員)
5月12日(火) 第5時限	テーマ:傷ついた街に、全国から人を呼び込みたい 東日本大震災からの復興をめざす若手大卒者 講師:白沢和行氏(一般社団法人おらが大塚夢広場 代表理事)	5月28日(木) 第5時限	テーマ:空飛ぶ車イス -世界のバリアフリー事情、そして日本のこれから- 講師:木島英登氏(木島英登バリアフリー研究所 所長)

【高槻キャンパス】

6月8日(月) 第5時限	テーマ:「テレビ番組制作の現場から考える民族問題」 講師:井上隆史氏(東京藝術大学 客員教授)
--------------	--

【高槻ミュージアムキャンパス】

5月7日(木) 第3時限	テーマ:「LGBTって何? ~誰もがいきやすいキャンパスに~」 講師:小林和香氏 (特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ 常勤スタッフ)
--------------	---

【堺キャンパス】

6月4日(木) 第2時限	テーマ:「子どもの人権問題」 講師:宝本美穂氏(今橋総合法律事務所 弁護士)
--------------	---

2015年4月 関西大学

関大トピックス

「関西大学歌集」のウェブサイトが完成しました

パソコンやスマートデバイス(スマートフォンやタブレットなど)で、関西大学で歌い継がれている「学歌」「学生歌」「応援歌」「追送歌」「新学生歌」「関西大学讃歌」の6曲が視聴できるウェブサイトを公開しました。

このサイトでは、各歌の動画や音源、歌詞データの視聴・ダウンロードが可能です。利用にあたっては、サイト内「利用規約」を遵守の上、ご活用ください。

「インフォメーションシステム」、またはモバイルポータルアプリ「モバイル関大」内の「関西大学歌集」から、学生・教職員専用のIDとパスワードを入力するとログインが可能です。

※「モバイル関大」は、アプリストアからダウンロードできます。



また、関西大学公式YouTubeチャンネルでは、「関西大学学歌」をはじめ、さまざまな動画を公開しています。皆さんに関西大学をより一層身近に感じてもらえるよう、コンテンツを随時追加予定です。ぜひご覧ください。

以下の二次元バーコード、または
<https://www.youtube.com/user/KansaiUniversity>
 からアクセスしてください。



年史資料展示室企画展「さようなら 天六学舎—85年の歴史展—」を開催中

平成27年度の企画展「さようなら 天六学舎—85年の歴史展—」が、4月1日から、千里山キャンパス簡文館1階、年史資料展示室にて開催されています。

1929年に竣工した天六学舎は、1952年から1993年まで、関西大学第二部の学び舎として利用され、多くの優れた人材を輩出してきました。2014年9月に天六学舎の閉鎖・売却が決まり、85年の歴史に幕を下ろしましたが、天六学舎が担ってきた社会人教育の伝統は、2016年にできる新キャンパス、「梅田キャンパス」に引き継がれていきます。

今回の企画展は、85年に及び天六学舎の歴史を、天六学舎を学び舎とした学校、天六学舎の竣工、旧館・本館・新館の様子、天六祭など、さまざまなトピックを通じて、振り返っています。さらに、クロージングイベントやオープニングも取り上げ、天六学舎に多くの人が集った有終の美の様子を紹介しています。

関西大学の先輩方が学んだ天六学舎を身近に感じる最後のチャンス。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

【会 期】2015年4月1日～9月30日(水)まで
 午前10時～午後4時

【休館日】日曜・祝日

【会 場】千里山キャンパス
 簡文館1階 年史資料展示室

【入館料】無 料



「関大には、人がいる」が始まりました

2016年に創立130周年を迎えるにあたり、関西大学では、新たなあるべき姿を模索して、学内の意見を広く集めました。その結果、関西大学の魅力の根幹に、「人」が多く語られていることが分かりました。関西大学の「人」らしく、明るく、思いやる気持ちを持ち、人懐っこく「考動」を忘れずに、世の中を大いに元気にしてくれる「人」。そんな関大を育むべく、学内の声から生まれたスローガン「関大には、人がいる」を基点にしたコミュニケーション活動に、今後積極的に取り組んでいきます。



阪急梅田駅周辺に掲出したポスターでは、学生や教職員など総勢188人の協力の下、はじめるような「笑顔」で授業や課外活動など、さまざまなシーンを表現できました。



写真撮影の様子



4月にオープンしたWebサイト「関大には、人がいる」では、先生の研究や学生の活動のほか、卒業生インタビューも紹介されています。
<http://hito.kansai-u.ac.jp/>

関大人 四方山話 ◆ 「ゆらぎ」 環境都市工学部 河井康人 教授



私の研究領域は音響学で波動現象を扱っている。自然界には種々の波があるが、ごく大まかに言えば波は平衡状態からの通常は微小なゆらぎである。このように言ってしまうと一見大して重要な現象ではないように思える。しかしながら、もろもろの波動現象がもしなかったなら人類は生存することすら困難である。それどころかそもそも生命の誕生など考えられない。なぜなら、電磁波である光がなければ宇宙は暗黒の世界である。核融合反応で太陽が高温になっても、そ

のエネルギーを伝達することができないから地球もまたしかりである。また、種々の波の中から音波だけが無くなったらどうであろうか? 耳からの情報が閉ざされれば悩ましい騒音問題はなくなるかも知れないが、言葉もなく、会話もなく、音楽もなく、文字や手話などの視覚情報が伝達の手段になるかも知れない。電車の中で隣に座った若者(失礼)のヘッドフォンから漏れる音に悩まされながらも、波というゆらぎが伝達される現象に大いに感謝したいものである。

編集後記

関西大学の新しいスローガン「関大には、人がいる」を掲げた白いポスター広告を朝の通勤電車で初めて見た時の印象に、軽い戸惑い(えっ、どういう意味?)が含まれていたのは偽らざるところです。その後よそで、学生や教職員の笑顔あふれるポスターを見て、なるほど学生、職員、教員が、ともに垣根を越えて「考動」できることは、関大の財産だと納得した次第です。「KANDAI STYLE」は、笑顔で考動する多くの「関大の人」を描き出しています。(広報委員・外国語学部教授 今井裕之)

今月の表紙: 岩淵千夏さん(人4)、戸谷友梨香さん(人4)、大坂美理さん(人4)、植竹未咲さん(人4)、松本睦実さん(人4)、大西風季さん(人4)、土井遥さん(人4)、濱野佑希さん(人4)、杉田理沙さん(人4)、堀本麻衣さん(人4)、青木仁実さん(人4)、大矢裕美さん(人4)、藤井美音さん(人4)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日: 2015年5月1日(年9回発行)

発行: 関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話: 06-6368-1121(大代表)